

BANDAI NAMCO NEWS



株式会社バンダイナムコホールディングス

〒140-8590 東京都品川区東品川4-5-15 バンダイナムコ未来研究所

Management

トップインタビュー

重点商品・サービス、新たな取り組みへの
着手で通期計画達成を目指す

このほど2010年3月期第2四半期の決算が発表されました。今回は(株)バンダイナムコホールディングスの石川祝男社長に、上期の総括、下期以降に向けての意気込みを聞きました。

——上期の業績を総括してください。

石川 トイホビー事業で国内の定番キャラクター商品が好調でしたが、全体的に下期に商品・サービスが集中していること、また厳しい経済環境のなか個人消費低迷の影響を受け、前年同期に及びませんでした。(詳細は4ページをご覧ください)

8月に修正した予想数値と比較すると、第2四半期におけるトイホビーの国内定番キャラクター商品や家庭用ゲームソフト「テイルズ オブ ヴェスペリア」などの好調により収益性が向上し、営業損失・経常損失が改善しました。しかしながら上期赤字となったことには変わりありません。下期の重点商品・サービスに全力を傾注し通期計画を達成していきたい

と思います。また、中長期的な視点で軌道修正すべき点を実行するとともに、攻めるべきところは果敢に攻めていきます。

——「機動戦士ガンダム」の30周年プロジェクトのイベントが終了しました。

石川 今回の30周年イベントは大成功だったと思います。実物大ガンダムの一般公開やイベントには、予想をはるかに上回る方が来場してくださいました。ファンに改めて「ガンダムはすごい」と感じてもらったこと、そして多くの新しいファンが生まれたことはとても大きな収穫でした。30周年以降も次々と新たな展開を仕掛けていきたいですね。

——トイホビー最大の山場である年末年始商戦が始まりますね。

石川 国内では、9月に放送を開始し絶好調の「仮面ライダーW」、^{ダブル}「フレッシュプリキュア！」など強い定番キャラクターを中心に展開します。また「たまごっち」を、TVアニメと新商品「Tamagotchi iD」^{アイディー}の連動によりキャラクターとしての展開も加速していきます。玩具以外では、好調なデータカードダス向けに豊富なコンテンツや新たな遊びを投入し活性化していくほか、ガンダム30周年という追い風がありますので、プラモデルを中心にガンダム商品も強化していきます。

株式会社バンダイナムコホールディングス
代表取締役社長 石川 祝 男

——海外のトイホビーの現状は？

石川 北米を中心に「パワーレンジャー」が苦戦するなか、「BEN10」^{ベンテン}が引き続き好調です。来年にはTV番組の新シリーズもスタートしますので、定番キャラクターとして育成していきます。また、これまで海外ではボーイズトイが中心でしたが、今年欧州で発売した「Key Tweens」^{キー トゥウィーンズ}や米国で発売した「Harumika」^{ハルミカ}などのガールズトイが人気となりつつあり、今後に期待しています。また海外発コンテンツ拡大の施策の1つとして、2010年後半以降の立ち上げを目指し、欧米でプリスクールコンテンツ「TingaTingaTales」^{ティンガ ティンガ テイルズ}を、欧州でガールズコンテンツ「Pop Pixie」^{ポップ ピクシー}の商品化を計画しています。このほか販路拡大の一環として、ポーランドに続き、2010年にメキシコにも拠点を設け、販売・マーケティング機能を強化する予定です。(次ページに続く)

Contents

Management	1~3
Financial Data	4
Group Companies/Portrait	5
Group News	6~9
Business Angle	10~11
Information	12

「存在感」を示すために 時には型をはみ出すことも必要

—そのほか新たな取り組みはありますか？

石川 国内では各カテゴリーにおけるNO.1を目指し、これまでシェアを取り切れていないカテゴリーに新たな商材を投入します。来年2月には、90年代に全世界で2,000万個以上を販売した「ハイパーヨーヨー」を小学生男児向けに復活させます。雑誌やイベントなどによる強力なプロモーションにより、ヒットを目指します。また未就学男児向けには、バンダイならではの企画開発ノウハウを生かした仕様の乗り物商品ブランド「VooV」^{フープ}を立ち上げます。これらの取り組みにより、玩具ホビー市場におけるシェアをさらに拡大していきます。

—下期に重点商品が集中しているゲームコンテンツはどうですか？

石川 10月下旬に発売した「鉄拳6」の全世界出荷数が250万本を突破（10月末日時点）し順調です。「鉄拳」は実写映画化も決まっております。このほかにも「ドラゴンボール レイジングブラスト」や、今年グループ入りしたD3グループの「BEN10」など強力なタイトルを投入し、巻き返していきたいと思っております。ゲームのハードウェアが値下げされましたので、市場の活性化が期待できます。このチャンスを生かすため、質の高い面白いゲームを開発し続けていきたいと思っております。



欧州市場に新たに投入した「Key Tweens」

業務用ゲーム機では、10月より「TANK! TANK! TANK!」^{タンク}を投入しました。シンプルで爽快感のあるゲーム内容が高く評価されていますので、息の長い商品になってくれると思います。このほかにも新機種「デッドストームパイレーツ」、カプコンと協働で販売するスーパーマリオのメダル機など、アミューズメント施設を活性化させるゲーム機を投入していきます。

—そのほかにも新しい動きはありますか？

石川 10月に、バンダイナムコゲームスからの新設分割により、PCオンラインゲーム事業を行う(株)バンダイナムコオンラインを設立しました。開発や運営に関するリソースを集中させることで、効率的できめ細かいサービスを行っていきます。中長期的な視点でオンラインゲームが人気のアジア市場を見据えた展開を行います。

また米国において、今期はサブライセンス販売していたドラゴンボールのゲーム化権を取得しましたし、新しいプラットフォームへの対応強化としてiPhoneとiPod Touch向けに「エースコンバット」などのハイクオリティなゲーム配信を行うなど来年以降を見据えたさまざまな手を打っていきます。

—子会社化したNAMCO BANDAI Partners S.A.S.の状況は？

石川 子会社化により、これまで外部に流通を委託していた欧州を含め17か国の拠点から約60か国に向けた直販体制が整いました。この販売網を最大活用し、将来的には欧州でのトップ5入りを目指します。

—映像音楽コンテンツは？

石川 映像パッケージ市場は、ハード移行に関わる端境期が続いていますが、各ターゲットに向けた効率的な



世界市場で好スタートを切った「鉄拳6」

©1994-2009 NBGI

コンテンツポートフォリオ展開を図ります。下期に向けては低価格帯のDVDラインナップを充実させるとともに、コアファン向けにコンテンツの選択と集中を行います。またゲームコンテンツ同様、PS3の値下げによる市場活性化というチャンスをしっかり生かしていきたいと思っております。さらに来年2月に話題の新作映像「機動戦士ガンダムUC」^{ユニコーン}の展開がスタートします。イベント上映、ネットワーク配信、パッケージ販売をほぼ同時に世界展開するという、これまでになかった画期的な取り組みです。次世代へ向けた新たなビジネスモデル構築につなげていきたいと思っております。

—アミューズメント施設は？

石川 アミューズメント施設では、上期の国内既存店売上が前年を下回りましたが、効率化施策を推進することで収益構造が改善してきています。また9月にオープンした「トーマスタウン 新三郷」のように、バンダイナムコならではの強みを生かした施設は好調です。今後もこのような競合施設と差異化された施設展開を図ります。このほかにも、例えばファミリー向け施設ではキャラクターを活用したキャンペーンを、ハイターゲット向け施設ではメダル感謝祭を行うなど、店舗業態にあったきめ細かい販促活動を進めていきます。

—中期経営計画がスタートして半年がたちました。

石川 まず現在の中期経営計画においてグローバル成長基盤を強化し、次の中期経営計画でグローバル成長

を本格化させ、そして2015年からの中期経営計画で「世界で存在感のあるエンターテインメント企業グループ」を目指すという大きな目標、戦略には変更ありません。海外事業の強化やエンターテインメント・ハブの強化など、戦略を実行すべく、着実に種まきをしていきます。

——厳しい経済環境が続いています。
石川 確かに楽観視できない環境ですが、売り場や施設に足を運ぶお客様が激減しているわけではありません。どんな時でも人々がエンターテインメントに触れたい、楽しみたいという

気持ちは変わりませんし、需要は常にあります。バンダイナムコグループとしては、市場動向を常にウォッチし続け、お客様に楽しんでいただけるクオリティの高いエンターテインメントを提供し続けたいと思います。——今後の抱負をお願いします。

石川 最近、社員には「いい意味で暴れる」ということを言っています。本当に暴れてもらっては困りますが(笑)、そういうがむしゃらなくらいの情熱やファイトを持つことも大切ですし、新しいものを生み出すためには時には型からはみ出すことも必

要です。社員がお客様を楽しませる、感動していただける商品・サービス作りに専念できる環境づくりを経営陣がしっかりと行い、目先だけにとらわれず新しい芽を育て、どんどんチャンスを与えていきたいと思っています。

バンダイナムコグループでは中長期的に「世界で存在感のあるエンターテインメント企業グループ」を目指していますが、この半年の業績という点では、残念ながら「存在感」を発揮しきれていません。世界に「存在感」を示すために、いい意味で暴れていきたいと思っています。

Holdings News

3つのイベントが盛況に終わった「ガンダム30周年プロジェクト」

「機動戦士ガンダム30周年プロジェクト」の一環として、ファンの皆様へ感謝の気持ちをこめて企画実施した「Real G」「Feel G」「Soul G」の3つのイベントが、盛況のうちに無事終了しました。

「Real G」として東京・お台場の潮風公園で行われた全高18mの実物大立像の一般公開には、期間中(7月11日～8月31日)に当初計画の150万人を大きく上回る415万人が来場し、今年の夏の大きな話題となりました。

また、8月21日から23日には、「Feel G」として東京ビッグサイトで「GUNDAM BIG EXPO」を開催し、6万人以上(有料入場ゾーン入場者数)が来場しました。

さらに10月24日には、「Soul G」として歴代の作品に関わったアーティストが出演する「すべての戦士に捧げる音楽祭」を開催し、大いに盛り上がりました。



©創通・サンライズ



写真上：東京・お台場の潮風公園に設置された全高18mの実物大ガンダム
写真下：10月24日に開催された「すべての戦士に捧げる音楽祭」の様子

CSR Topics

「バンダイナムコの森」で森の保全活動・地域交流イベントを実施

バンダイナムコグループでは、2007年より長野県志賀高原にある約47ヘクタールの森林の里親となり、「バンダイナムコの森」としてさまざまな活動を行って



ています。9月には、グループ社員30名が約1,200㎡にわたる森の下草刈りなどの保全活動を行いました。また10月には、森に設置した巣箱やエコ標語プレートのメンテナンスに加え、現地の保育園の園児に(株)キャラ研がプロデュースする人気絵本「くまのがっこう」の絵本の読み聞かせや、木の実などを使ったワークショップなどを行いました。今後もバンダイナムコグループでは、「バンダイナムコの森」を森林保護に繋がる活動の場として活用していきます。

お見舞金の送付について

バンダイナムコホールディングスは、8～10月に以下の被災地に対し、日本赤十字社を通じ義援金を送付しました。被災地の1日も早い復興を心よりお祈りします。

- ◆台湾マラコット台風の被災地
- ◆国内4県(山口・福岡・兵庫・岡山) 豪雨の被災地
- ◆フィリピン台風16号(ケツアーナ)の被災地
- ◆サモア諸島地震・津波の被災地
- ◆スマトラ島西部パダン沖地震の被災地

2010年3月期第2四半期累計期の連結業績

バンダイナムコグループの2010年3月期第2四半期累計期(上期)業績は、トイホビー事業の国内定番キャラクター玩具が好調に推移したものの、全体的に下期に商品・サービスが集中していることに加え、個人消費低迷の影響を受けて前年同期には及びませんでした。

8月に公表した業績予想と比較すると、第2四半期においてトイホビー事業の「仮面ライダー」シリーズや「フレッシュプリキュア!」シリーズなどの国内定番キャラクター商品や、ゲームコンテンツ事業の「テイルズオブヴェスペリア」「SDガンダム ジージェネレーションウォーズ」などの家庭用ゲームソフトが好調に推移したことにより、収益性が向上しました。また、第2四半期より海外市場でゲームソフト販売を行うNAMCO BANDAI Partners S.A.S.を子会社化したことにより売上が増加しましたが、同社の拠点統合に関わる初期費用などの計上により純損失が増加しました。

事業別の概況は以下の通りです。

【トイホビー事業】

国内で「仮面ライダー」シリーズ、「侍戦隊シンケンジャー」「フレッシュプリキュア!」などの定番キャラクター玩具や、データカードダス「仮面ライダーバトル ガンバライド」、トレーディングカードゲーム「Battle Spirits」が人気となったものの、自動販売機用カプセル商品などの玩具周辺事業が苦戦しました。海外では、「BEN10」のキャラクター玩具が好調に推移したものの、全体としては低調に推移し、特に市場環境が厳しいアメリカで苦戦しました。

【ゲームコンテンツ事業】

同事業は下期にタイトル・機器の発

売が集中しています。第2四半期には、「テイルズオブヴェスペリア」「SDガンダム ジージェネレーションウォーズ」などが国内で人気となる一方、その他の中小型タイトルは苦戦。海外では、ローカライズタイトルの販売が好調に推移した前年同期に及びませんでした。業務用ゲーム機では、前期に発売した機器のリピーター販売などにより、またモバイル機器向けゲームコンテンツはユーザー嗜好の多様化に対応した豊富なコンテンツ展開により、堅調に推移しました。

【映像音楽コンテンツ事業】

国内で「ガンダム30thアニバーサリーコレクション」「交響詩篇エウレカセブン」などのパッケージソフトが人気となりましたが、ハードウェアの移行に伴う端境期が続くなか、パッケージソフト事業全体としては苦戦しました。一方、音楽パッケー

ジソフトは、アニメーションを中心に好調に推移し、海外では、アメリカにおいて事業の効率化により収益性が改善されました。

【アミューズメント施設事業】

国内で顧客セグメント別の営業戦略に着手したものの、既存店の売上は前年同期比89.7%でした。一方、前期に不採算店を中心に63店舗の閉鎖・売却を政策的に実施したことに加え、引き続き効率化に取り組んだ結果、コスト削減に寄与しました。海外では、アメリカではさらなる効率化の推進、ヨーロッパでは複合施設を中心とした展開を行いました。全体として低調に推移しました。

配当については、配当に関する基本方針にのっとり、2010年第2四半期末の配当金を1株あたり12円とすることを決議しました。

なお、2010年3月期通期の業績見通しについては変更ありません。

◆2010年3月期第2四半期累計期(上期)の連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
2010年3月期第2四半期累計期	172,733	▲2,615	▲2,866	▲6,038
前年同期比(%)	▲9.5	—	—	—
前回予想(2009年8月公表)	165,000	▲3,800	▲3,200	▲4,700

◆2010年3月期通期の連結業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2010年3月期予想	400,000	15,000	16,000	8,500

◆2010年3月期第2四半期累計期(上期)のセグメント別実績

(単位:百万円)

事業分野	売上高	営業利益
トイホビー	66,700	3,765
ゲームコンテンツ	57,181	▲6,769
映像音楽コンテンツ	15,469	362
アミューズメント施設	33,717	1,056
その他事業	8,895	19
消去または全社	(9,230)	(1,050)
連結	172,733	▲2,615

※見通しに関してはさまざまな前提に基づいたものであり、記載された将来の予想数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

ベンチャー企業の機動力を活かし D3らしい商品・サービスの提供を目指す

国内の(株)ディースリー・パブリッシャーや米国のD3 Publisher of America, Inc.など、国内外のディースリーグループ（以下：D3グループ）の統括を行う(株)ディースリーは、2009年3月、株式公開買付によりバンダイナムコホールディングスの連結子会社となりました。

D3グループは、家庭用ゲームソフト事業と携帯電話向けコンテンツ事業を中心に展開しており、低価格で手軽にゲームを楽しむことができる「SIMPLEシリーズ」は、全世界で2,000万本以上を販売する実績をあげています。このほか、「地球防衛軍」など、D3グループならではのコンテンツを多数展開しています。また、欧米を中心に海外展開も積極的に行い、2009年3月期の海外売上比率は60%を超えています。

現在、D3グループではトイホビー事業で人気の「BEN10」の家庭用ゲームソフトを欧米で販売していますが、今後はバンダイナムコグループのほかの事業分野との相乗効果発揮も図っていきます。



欧米で販売している「BEN10」のゲームソフト
(左からWii用、ニンテンドーDS用、PSP用)

株式会社ディースリー

住所 東京都渋谷区道玄坂1-9-5 渋谷スクエアA2F
設立 1992年2月
代表 代表取締役社長 伊藤 裕二
事業 ディースリーグループ全体の統括機能
およびゲームコンテンツの保有と供給

<社長から一言>

10周年を迎えるD3グループですが、創業当初はプレイステーション用の低価格ゲームソフト「SIMPLEシリーズ」が売上および利益の90%以上を占めていました。それが今では、携帯電話用コンテンツや、海外販売を含む通常価格のゲームソフトが売上の大半を占め、結果としてパッケージの「SIMPLEシリーズ」の売上比率は2%にまで低下しています。これはベンチャー企業の機動力を活かし、環境の変化にいち早く対応できた結果だと思えます。

今後も機動力を活かし、「D3らしい、お客様のためになる商品・サービス」の提供に努めるとともに、新たなビジネスモデルの創出に注力していきます。



Portrait 現場から

「トーマスタウン 新三郷」の店長

株式会社プレジャーキャスト 鈴木 康文



今年9月、屋内型では日本初となる「きかんしゃトーマス」をテーマとしたアミューズメント施設「トーマスタウン 新三郷」が、「ららぽーと新三郷」（埼玉県三郷市）内にオープンしました。今回は同施設の店長である(株)プレジャーキャストの鈴木康文に話を聞きました。

Q 「トーマスタウン」はどんな施設ですか？

A 「きかんしゃトーマス」とその仲間たちが住むソドー島の世界観を再現したアミューズメント施設で、タウン内は「アトラクションエリア」「ダイニングエリア」「ショッピングエリア」と大きく3つのエリアで構成されています。「社会的感性、国際的感性を遊びながら学ぶエデュテインメント」をコンセプトにしており、「きかんしゃトーマス」の物語の根底にある「友情の大切さ」をテーマに、協調性や友達を大切にすると「社会的感性」を養い、英国生まれのキャラクターという国際性を生かして、「国際的感性」を育むことを目指しています。英国文化との触れ合いはもちろん、施設内

の挨拶に英語を用いるなど、既存のアミューズメント施設にはない内容となっています。遊びながらお子様の感性と知性を育むことができると考えています。

Q オープン後の反応はどうか？

A 予想以上のお客様にご来場いただいています。「トーマス」のファンの方はもちろん、買い物のついでに立ち寄られる方も多くいらっしゃいます。「トーマス」は未就学男児に特に人気なのですが、女兒を含め幅広い年齢層の方に来ていただいています。私は入社以来、ずっとテーマパークの運営に携わってきましたが、入場無料の施設を手がけるのは今回が初めてで、最初は不安だったのですが、オープンするといろいろな方が気軽にお越しになり、楽しんでお帰りになるのを見て、無料にして良かったと感じています。

Q 特に人気を集めているスポットは？

A 「トーマス」や友人の「パーシー」に実際に乗って、街を走ったり、映像を見たりする「トーマスシアタートレイン」が人気で、連日、整理券をお配りしているほどです。

1996年に(株)ナムコ入社。ナムコワンダーエッグ（2000年12月閉園）などテーマパークの企画・運営に携わり、2009年より(株)プレジャーキャストに
出向

Q 今後、施設をどのようにしたいですか？

A いつ来ても新しい楽しみや発見があるような「生きている街」にしていきたいですね。そのために、ハロウィンやクリスマスなど季節ごとにイベントを行ったり、内装を変化させたりと、さまざまな工夫をしています。そうすることで、何度でも訪れていただけたらと思っています。

Q これからどんなことにチャレンジしていきたいですか？

A テーマパークが大好きで、これまでずっと現場の運営やイベントの企画に携わってきました。これからも「生きた施設」づくりを心がけて、自分自身も楽しみながら、いろいろなテーマパークにチャレンジしていきたいですね。

「Tamagotchi iD」を強力プロモート

(株)バンダイ(上野和典社長)は、11月23日に発売した「たまごっち」の新製品「Tamagotchi iD」に合わせてさまざまなプロモーションを展開しています。10月から放送開始したTVアニメ「たまごっち!」とは、毎週、番組内容に沿ったアイテムやミニゲームを携帯サイトからたまごっち本体にダウンロードできるTV連動を実施。また、マクドナルドとコラボレーションし、11月にハッピーセット「たまごっち」を発売。おもちゃに付いているパスワードを本体に入力すれば、オリジナル映像を見たり、アイテムをダウンロードできます。さらに週末限定キャンペーンでは、TVアニメ(第1・2話)や商品紹介を収録した「たまごっちスペシャルDVD」を配布しました。バンダイは今後も、「たまごっち」の魅力を最大限に生かすプロモーションを展開し、「Tamagotchi iD」を盛り上げていきます。



ハッピーセット「たまごっち」のおもちゃ
©BANDAI・WIZ/TV TOKYO・2009TeamたまごっちTV

模型ホビーショーにガンプラを出展

バンダイは、10月8日～11日に幕張メッセで開催された「2009 第49回全日本模型ホビーショー」に出



初公開した「MG Vガンダム Ver.Ka」(右)とガンプラ30周年をアピールするコーナー
©創通・サンライズ

展しました。会場では、年末の主力商品の1つ「PG 1/60 ダブルオーライザー」(26,250円/発売中)のパーツ総点数1,031点、201ヶ所が可動する精密な内部構造を紹介。来春アニメが公開される「機動戦士ガンダムUC」からは、「HGUCユニコーンガンダム」(デストロイモード1,890円、ユニコーンモード1,575円/発売中)を展示。初公開した「MG Vガンダム Ver. Ka」(3,990円/発売中)も注目を集めました。来年、2010年は、ガンプラが初めて発売されてから30年となる節目の年。バンダイで記念商品の発売や各種イベントの開催などにより、「ガンプラ30周年」を盛り上げていきます。

釜山に韓国2店舗目のガンダム専門店オープン

韓国で玩具販売などを手がけるBANDAI KOREA CO., LTD.(本社:韓国ソウル市、江本義昭社長)は、12月19日、ガンダム商品の専門ショップ「THE GUNDAM BASE .SIDE2」を韓国釜山市にオープンします。

店内は、商品販売コーナー、ガンプラ体験コーナー、ゲーム体験ゾーン、ガンダム関連映像を上映するシアターゾーンなどで構成され、ショッピングだけでなくガンダムの世界観を楽しめる空間となっており、プラモデルやフィギュアなど約1,300種類を取り扱います。韓国で「GUNDAM BASE」を出店するのは、2003年のソウルに続く2店舗目。韓国第2の都市・釜山に出店することで、南部地域の旗艦店舗の役割を担うとともに、韓国におけるガンダムブランドのさらなる認知拡大を目指します。



©創通・サンライズ

住所:釜山広域市釜山鎮區釜田2洞
155-4 ET LAND 5F、6F
坪数:5F 115坪、6F 50坪
営業時間:10:30~21:30

∞ところてん/∞ところてん スッキリ!!バージョン

発売中/各630円 (株)バンダイ

“∞にできるシリーズ”の第5弾は「∞ところてん」。押し出し棒を押し込むと“ニョリッ”とところてんが出てきて、何度でもところてんを押し出す感触を楽しむことができます。ところてんの先には顔が描かれており、何度も押し出したくなる楽しさです。日本テレビ系列で放映中の情報バラエティ番組「スッキリ!!」とコラボレーションした「スッキリ!!バージョン」も同時発売です。



©BANDAI 2009

PG 1/60 ダブルオーライザー

発売中/26,250円 (株)バンダイ

ガンプラの最高峰ブランド「PG(パーフェクトグレード)」の新商品。TVアニメ「機動戦士ガンダム00」セカンドシーズンの主役機「ダブルオーライザー」を1/60スケールで忠実に商品化。全高18mの機体を再現するため、内部骨格など細部にいたるまでリアリティを追求。劇中の演出をLEDで忠実に再現しました。パーツ総点数1,031点、全身201ヶ所可動と、複雑な構造でありながら組み立てやすさも最大限まで追求しています。



©創通・サンライズ・毎日放送

はじめてマカロン

発売中/2,310円 (株)メガハウス

楽しみながらお菓子を作ることができる「Happyキッチン」シリーズの注目商品。フランス生まれの人気スイーツ、マカロンを自宅のオープンで簡単に作ることができます。さまざまなカラーバリエーションや中身のクリームなどの作り方レシピ付き。うさぎやハートの形にできるガイドシートもついており、いろいろな形のマカロンが作れます。ご家族やお友達とマカロンパーティーをお楽しみください。



iPhone向け「エースコンバット」を今冬配信

(株)バンダイナムコゲームス(鶴之澤伸社長)は、iPhone/iPod touch専用コンテンツとして、「エースコンバット」シリーズの最新作「ACE COMBAT Xi Skies of Incursion (仮称)」を開発。今冬にNAMCO NETWORKS AMERICA INC.から配信を開始する予定です。

iPhone/iPod touchの加速度センサーやタッチパネルなどの機能を十分に生かした直感的なプレイ操作で、壮大な大空を自由に高速で飛び回り、迫り来る敵と迫力の戦闘を展開します。また、携帯端末の利用特性を考慮し、1ミッションにかかる平均時間*や戦闘時のゲームバランスを設定。プレイヤーのライフスタイルに合わせて「エースコンバット」の世界観をいつでも堪能できます。

※操作テクニックやミッション内容により異なる。



©2009 NBGI ©GeoEye ©JAPAN SPACE IMAGING CORPORATION. All trademarks and copyrights associated with the manufacturers, aircraft, models, trade names, brands and visual images depicted in this game are the property of their respective owners, and used with such permissions. Powered by "CRIWARE mobile". CRIWARE is a trademark of CRI Middleware Co., Ltd.

バンダイナムコオンライン設立

バンダイナムコグループは、ゲームコンテンツ事業の拡大を目的に、PC向けオンラインゲーム事業を行う(株)バンダイナムコオンラインを、10月1日付でバンダイナムコゲームスからの新設分割により設立しました。これにより、ゲームコンテンツ事業におけるオンラインゲームのリソースを集約。開発力・運営力を強化するとともに、アジアなど海外市場での展開も着手し、中長期的にオンラインゲームをゲームコンテンツ事業における新たな柱の一つとして育成していく方針です。

<株式会社バンダイナムコオンラインの概要>

所在地：東京都品川区東品川4-5-15
バンダイナムコ未来研究所
代表者：浅沼 誠
資本金：5,000万円 設立：2009年10月1日
事業：PC向けオンラインゲームの企画・開発・運営

「太鼓の達人」をあしらった“空弁”を発売

「太鼓の達人」のキャラクターをあしらった空弁(空港内で売られている弁当)「太鼓の達人 にぎわい祭り弁当」が、羽田空港限定で空港内の「アーツデリ」ほか2店舗で10月10日から発売されています。これは、弁当のモチーフとなった「和田どん」が石川県から飛行機に乗って羽田空港にやってきた、というゲーム内でのキャラクター設定が縁となり実現したもので、「アーツデリ」を運営する東京エアポートレストラン(株)と、「太鼓の達人」の開発チームが共同で開発。から揚げやエビフライ、ハンバーグなど子どもに人気のおかずを彩り豊かに多数取りそろえ、ご飯の部分には主人公キャラクター「和田どん」の顔を描くなど、味も見た目も楽しめるお弁当になっています。



©NBGI

Wii用ソフト「テイルズ オブ グレイセス」

12月10日発売予定/7,329円

(株)バンダイナムコゲームス

「テイルズ オブ」シリーズの最新作。キャラクターごとに異なる固有武器を別のスタイルで切り替えることができ、さらに遊びやすく、やりこみ要素も満載の新システムを多数搭載。さまざまな攻撃方法で戦闘が繰り広げられ、戦術の幅が広がります。キャラクターデザインは、数々の「テイルズ オブ」シリーズ作品で人気キャラクターを生み出しているイラストレーター、いのまたむつみ氏。製作はナムコ・テイルズスタジオが担当し、いのまた氏の描く繊細で幻想的なキャラクターの心の変遷まで描き出しています。

©いのまたむつみ
©2009 NBGI



「一番くじワンピースフィルム ~ストロングワールド~」

発売中/500円(1回) (株)バンプレスト

人気アニメ「ワンピース」の新作映画「ストロングワールド」バージョンの一番くじが、12月12日の劇場公開に先駆けて登場します。全13等級のうち、上位8等級は映画版オリジナルコスチュームのキャラクターフィギュア。台座の組み合わせ次第で好みの並べ方で飾れます。

©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ
・東映アニメーション
©「2009 ワンピース」製作委員会



「ブルードラゴン 異界の巨獣」の完成披露発表会を開催

10月7日、バンダイナムコゲームスのニンテンドーDS用ソフト「ブルードラゴン 異界の巨獣」の完成披露発表会が開催されました。本作は、プロジェクト総監督をミストウォーカーの坂口博信氏、キャラクターデザインを鳥山明氏が担当し、「テイルズ オブ」シリーズを手がけるバンダイナムコゲームスの馬場英雄がプロデュースするというコラボレーションにより実現した、新機軸のアクションバトルRPGです。発表会では、バンダイナムコゲームスの鶴之澤社長も参加して行われた「スペシャルトーク」や、歌手の藤本美貴さんによる体験プレイなどを行い、ゲームの魅力に迫りました。



完成披露発表会の様子
©2009 BIRD STUDIO/MISTWALKER/NBGI All rights reserved.
©2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Group News

映像音楽コンテンツ

「機動戦士ガンダム UC」^{ユニコーン} (全6巻) 第1話 2010年3月12日から世界同時期発売

(株)サンライズ (内田健二社長) が全6話で映像化するOVA*「機動戦士ガンダム UC」の第1話が完成し、2010年2月20日より全国5都市で2週間限定のプレミアレビュー (イベント上映) を行うことが決定しました。OVAはバンダイビジュアル(株) (川城和実社長) から3月12日の国内リリースを皮切りに、北米など海外でも同時期に発売します。さらに2月20日からの上映イベント入場者を対象に、Blu-ray Discの第1巻を先行販売します。初回生産分は、メカデザイナーのカトキハジメ氏による描き下ろしの特製スリーブ付きです。声優は、パナージ・リンクス役に内山昂輝、オードリー・バーン役に藤村歩のほか、「機動戦士ガンダム」でお馴染みの池田秀一、永井一郎らも交え、豪華なキャストでお送りします。なお、イベント上映開始日からは、PlayStation® Storeでのネットワーク配信も予定されています。

OVA: オリジナル・ビデオ・アニメーション



<公式ホームページ>

<http://www.gundam-unicorn.net/>

<商品仕様>

発売日: 2010年3月12日 (イベント会場にてBlu-ray第1巻を先行販売)
Blu-ray: 5,040円 DVD: 3,990円
全6巻 (2巻目以降発売日未定)

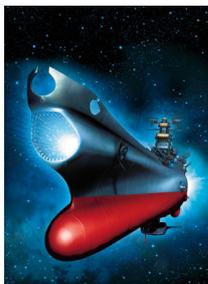
©創通・サンライズ

劇場アニメ「宇宙戦艦ヤマト 復活篇」 12月12日公開

1974年に放送されて一世を風靡したTVアニメ「宇宙戦艦ヤマト」が、35年の時を経て最新CG技術を駆使した劇場アニメとして帰ってきます。今回のストーリーは、宇宙戦艦ヤマトが地球を救うため自没して17年後の西暦2220年に、再び危機にさらされた人類を守るために復活した宇宙戦艦ヤマトと、新艦長に任命された古代進の死闘を描きます。ヤマトスタジオが総力を結集し制作した本作は、バンダイビジュアルも製作参加しており、全国東宝系200館以上での上映が予定されています。



©2009ヤマトスタジオ/「宇宙戦艦ヤマト 復活篇」製作委員会



DVD「機動戦士ガンダム0083 —ジオンの残光—」 「機動戦士ガンダム/第08MS小队 ミラズ・レポート」 「新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 特別篇」 (ガンダム30thアニバーサリーコレクション)

12月22日発売予定/各3,000円 バンダイビジュアル(株)
*2010年7月23日までの期間限定生産

7月に発売した「ガンダム30thアニバーサリーコレクション」の10タイトルに加え、新たにガンダムOVA発祥の劇場版3作品を発売します。いずれもリバーシブルジャケット仕様で、映像特典として劇場予告編を収録。これによりガンダムシリーズの全劇場作品が揃います。



©創通・サンライズ

DVD-BOX「フランダースの犬 DVDメモリアルボックス」

12月22日発売予定/27,300円 バンダイビジュアル(株)

来年、放送35周年を迎える不朽の名作「フランダースの犬」を記念して、低価格DVD-BOX「フランダースの犬 DVDメモリアルボックス」を発売します。全52話を完全収録し、24ページのライナーノート、描き下ろしイラスト



BOX、特製インナージャケットなど、メモリアルと呼ぶにふさわしい豪華仕様となっております。また、バンダイビジュアルファミリーセレクションとして、DVD「フランダースの犬」全13巻も各1,890円で同時発売します。 ©NIPPON ANIMATION Co., LTD.

TVアニメ「たまごっち!」好評放送中

(毎週月曜夜7時~ テレビ東京系)

1996年にバンダイより発売されて以来、今もなお進化し続けているたまごっちシリーズ。そのTVアニメ「たまごっち!」が、10月からテレビ東京系で放送されています。同シリーズの劇場版2作品の監督を務めた志村錠児が監督を、松井亜弥が引き続きシリーズ構成を担当しています。まめっち、めめっち、くちばっちなどお馴染みの人気キャラクターに、スーパーアイドルな新キャラ・ラブりっちが加わり、たまごっちスクールがますますにぎやかになりました。また、地デジ対応テレビの「データ放送」を使ってスタンプを集めると、キャラクターの秘密のメールアドレスがゲットできるなど、本編だけでなく、番組をインタラクティブに楽しむことができます。



©BANDAI・WIZ/TV TOKYO・2009TeamたまごっちTV

DVD「ディア・ドクター」

初回限定版6,300円 通常版3,990円
2010年1月8日発売予定 バンダイビジュアル(株)

「ゆれる」の西川美和監督の最新作「ディア・ドクター」のDVDを発売します。本作は今年6月に公開されたもので、監督自身によって書かれた原案小説「きのうの神さま」は、第141回直木賞候補に選ばれました。医療がテーマの作品ということで、視覚障害者対応副音声と聴覚障害者対応日本語字幕が選択できるバリアフリー仕様となっております。初回限定版には、メイキングなどを収録した特典ディスク、西川監督書き下ろしノート、ライナーノートが封入されます。 ©2009「Dear Doctor」製作委員会



お肉料理のテーマパーク「東京ミートレア」開業

(株)ナムコ (橋 正裕社長) は、京王電鉄株と協力し、日本初となるお肉料理のテーマパーク「東京ミートレア」を企画・開発・プロデュースしました。「東京ミートレア」は、京王電鉄が新設・運営する複合商業施設「フレンテ南大沢」新館 (東京都八王子市) の集客核施設として12月3日にオープンします。幸せになれる、元気になれるお肉料理をテーマに、「いつもよりちょっとご馳走、ちょっとご褒美、ワクワク気分です」施設です。スペインをモチーフに演出された非日常な空間の中で、全国から集めた7店舗のお肉料理を楽しむことができます。20代~40代の女性を中心に、ファミリーやカップルなど幅広いお客様に楽しんでいただけます。



「東京ミートレア」
所在地：東京都八王子市南大沢2-1-6
フレンテ南大沢新館
施設面積：約1,130㎡ (約342坪)

中国・上海に「喜羊羊与灰太狼歡笑樂園」を新設

上海南夢宮有限公司 (総経理 荻野 浩) は、「喜羊羊与灰太狼歡笑樂園」の1号店を中国の上海市に12月下旬にオープンする予定です。同施設は「喜羊羊与灰太狼」の主人公「喜羊羊」に実際に会い、触れ合える子ども向けの施設で、1号店は上海市の繁華街である南京西路に位置する「新世界百貨」の8階に開設します。

「喜羊羊与灰太狼」は中国のオリジナルTVアニメシリーズで、今までに600話以上が放送されています。また、2009年1月に上映された映画「喜羊羊与灰太狼之牛氣冲天」は、興行収入約1億人民元を記録するなど、現地で大人気作品です。



©2009 INFOPORT

「ご当地すごろく じゃらんツアーズ」を新設

ナムコは(株)リクルート発行の「じゃらん」と連携し、すごろく式パチチャトラベルアトラクション「ご当地すごろく じゃらんツアーズ」をナムコ・ナンジャタウン (東京都豊島区) に新設しました。ご当地にまつわるクイズやゲームに挑戦しながら日本各地を目指し、有名スポットを訪れます。貴重なご当地情報も発見でき、まるで「ご当地探訪」をしているような旅行気分を楽しめます。また、「ご当地PRアトラクション」として、地域振興に積極的な自治体などとのコラボレーションも可能となっており、今後、リクルートと新しいビジネスモデルの展開を進める予定です。



★アミューズメントスポット情報★

●「ONE PIECE FILM STRONG WORLD inナムコ・ナンジャタウン」開催中 ナムコ・ナンジャタウン

映画10作品目となる「ONE PIECE」劇場版の公開を記念して、「ONE PIECE FILM STRONG WORLD inナムコ・ナンジャタウン」を2010年1月31日まで開催中です。劇場版にちなんだ期間限定アトラクションや、ショーステージ、クリスマス装飾、さらに「ONE PIECE」にちなんだデザートまで登場。最新情報はナムコ・ナンジャタウンのホームページ (www.namja.jp) で公開中です。



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション
©「2009 ワンピース」製作委員会

●「たまごっちアイドルパーク」オープン！ ナムコランドキッズららぽーと横浜店

ナムコとバンダイの共同開発による、TVアニメ「たまごっち！」をモチーフとしたキッズアイドル体験ができる施設です。ナムコランドキッズららぽーと横浜店内 (神奈川県横浜市) に、12月16日~2010年3月22日までの期間限定でオープンします。



©BANDAI・WIZ/TV TOKYO・2009TeamたまごっちTV

●「ウルトラヒーローズ」オープン！ NAMCOLAND BASE 765店

NAMCOLAND BASE 765店内 (宮城県名取市) に12月3日オープンするウルトラマンの世界を再現したなりきりアスレチック施設。ジオラマタイプのフアアアスレチック遊具で、お子様が運動しながら怪獣と戦うウルトラヒーローの気分を体験することができます。2010年4月11日までの期間限定です。



©円谷プロ

●「さよならお化け屋敷」イベント開催 浅草花やしき

浅草花やしきの名物アトラクション「お化け屋敷」が、来年冬、建物新築工事のため約25年間の歴史に幕を閉じます。花やしきでは、長年の営業を記念して「さよならお化け屋敷」イベントを1月中旬まで開催中です。花やしきは、大晦日、元旦も17:00まで営業します。



株式会社バンダイ 代表取締役社長 上野和典

玩具業界にとって最大の商戦期である年末商戦が迫ってきました。今年もバンダイは定番キャラクターを軸に、強力なラインナップを展開します。今回は玩具市場の現状と各事業の動向、年末商戦への意気込み、そして欧米市場の強化について、バンダイの上野和典社長に話を聞きました。

■上野和典（うえの かずのり）社長の経歴

1953年9月16日生 神奈川県出身
77年4月 (株)バンダイ入社
91年4月 自販キャンディ事業部部长
99年6月 執行役員 ライフ事業本部副本部長
00年4月 執行役員 キャラクター玩具事業部ゼネラルマネージャー 兼 トイ事業戦略室ゼネラルマネージャー
01年6月 取締役就任
03年4月 常務取締役 トイホビーカンパニープレジデント 兼 ガンダムマネージャー
04年4月 常務取締役 トイホビーグループリーダー 兼 チーフガンダムオフィサー 兼 トイホビーカンパニープレジデント
05年6月 (株)バンダイ代表取締役社長に就任



年末年始商戦に向け、好調な定番キャラクターを中心に商品を投入する

— 国内玩具市場の状況はどうですか？

上野 今年、当社の戦隊シリーズ、仮面ライダー、プリキュアの定番キャラクターの商品が揃って好調なこともあって、玩具売場は活気を取り戻しており、この傾向は年末年始商戦に向けて続くものと見ています。定番キャラクターが好調な理由の一つは、これまで同時期にスタートしていた戦隊シリーズと仮面ライダーの新番組放映開始時期が半年ずれたことで、両キャラクター商材の効果的展開ができていくことが挙げられます。9月に仮面ライダーの新シリーズ「仮面ライダーW」の放映がスタートしましたが、おかげさまで大変好調で、変身ベルト「DX ダブルドライバー」も人気を集めています。— 女児玩具も好調ですね。

上野 女児では、定番の「フレッシュプリキュア！」が好調です。今回、番組リニューアルとの相乗効果で、新たな人気を獲得しました。また、10月にスタートした新番組「たまごっち！」も低学年女児を中心に人気を集めており、11月には最新機種「Tamagotchi iD」を発売しました。今回は育成というコンセプトに加え、

アイテムやミニゲームなどのデータをダウンロードし、自分だけの「たまごっち」にカスタマイズできることが大きな特徴となっています。TVアニメとも完全連動し、毎週番組内容に沿ったアイテムなどをダウンロードすることができます。また、マクドナルドさんのお子さま向けメニュー「ハッピーセット」とタイアップした大がかりなキャンペーンを実施したほか、これまでになかったハウスやホビーといったキャラクター商品の投入により、2010年3月末までに本体50万個の販売を目指しています。

そのほか、人気のクッキングトイシリーズとして、かわいいパンが簡単に作れる玩具「パンがやけたよ！アンパンマン」を発売しますが、女児をはじめファミリーで楽しめる商品として期待しています。

— トレーディングカードゲーム「Battle Spirits」の販売状況は？

上野 「Battle Spirits」は今年2年目となりますが、9月にTVアニメの新シリーズ「バトルスピリッツ 少年激覇ダン」がスタートし、カードの売れ行きも伸びています。当社は小学生男児向けのトレーディングカードゲームではやや後れをとってしま

したが、「Battle Spirits」が順調に立ち上がり、シェアも着実に伸びています。「Battle Spirits」はワールドワイドでの展開を視野に入れており、8月に北米で販売を開始しました。まずは各地で地区大会を開催するなど、地道な活動を続けて認知度の向上を図り、将来的には日本と同じようにアニメと連動した展開も検討していきたいと思います。カード事業ではそのほか、「仮面ライダーバトルガンバライド」など、データカードダスも引き続き好調です。

— 玩具菓子やカプセル自販機商品の状況を教えてください。

上野 これら低価格の玩具周辺商品は、消費マインド冷え込みの影響を受けています。しかし、最近発売したカプセル自販機商品「デジタルグレード」など先端技術を導入した新規商材は、高い評価をいただいています。バンダイらしい新しさや楽しさのある商品を提供し、売場を含めて活性化していきたいと思います。

— 海外の市場環境はどうですか？

上野 欧州とアジアは堅調に推移していますが、北米が景気低迷の影響を受けて苦戦しています。そうした中でも、米国発のキャラクター「BEN10」が引き続き健闘しています。来年からはTVアニメもシリーズ3作目となりますので、それをテコ



仮面ライダーW「変身ベルトDXダブルドライバー」
©2009 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映



「パンがやけたよ! アンパンマン」
©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV



「Harumika Runway Showstopper Set」
©SUNRISE, Layup

にさらに盛り上げていきます。

米国ではこれまで、「パワーレンジャー」などのボーイズトイをメインに展開してきましたが、今後はカテゴリーの拡大にも注力します。まず今期は、ガールズトイを立ち上げることが最大のミッションと考えており、クリスマス商戦に向けてファッションコーディネート遊びが楽しめる「Harumika」を導入しました。CM投入などの効果もあり、好調な滑り出しとなっています。米国は市場規模が大きく、1つの商品でも日本の数倍のビジネスになるので、しっかりとマーケティングをして、ボーイズトイに匹敵する事業に育てていくつもりです。

——欧州やアジアで新たな動きは？

上野 欧州では、8月にポーランドで玩具の販売やマーケティングを行うバンダイポルスカを設立しました。ポーランドは市場が伸びていることに加え、東欧圏への窓口の役割を果たしており、東欧地域拡大の戦略拠点になるものと期待しています。欧州でも新たに「Key Tweens」や「Star Friends」などの女兒向け玩具を投入し、順調にスタートしています。

アジアでは、ガンダムに三国志の世界観を取り入れた「BB戦士 三国志伝」が人気で、今後は映像化も検討しています。また、韓国で11月に、ガンダム商品の専門ショップ「THE

GUNDAM BASE」の2号店をオープンします。このようにアジア地域では、日本発のキャラクターを積極的に展開し、日本と連動した取り組みを行っていきます。

国内でナンバーワンの地位を確立することがグローバル化を推進する第一歩

——上野社長はCGO（チーフガンダムオフィサー）でもありますが、ガンダム30周年プロジェクトについて総括してください。

上野 ガンダムはこれまでコアなファンをターゲットの中心にしたビジネスでしたが、今回一連のイベントを通じて、国民的なキャラクターになったと感じています。この波及効果を今後のマーケティングや映像製作に活かして、また新たな歴史を作りたいと思います。なお、来期は「ガンプラ」が生誕30周年を迎えますので、それに向けて記念商品やイベントなどを企画しています。

——今後の意気込みを。

上野 我々は中期経営計画で、欧米市場を強化するための土台作りを最重点課題としています。そのためには、

キャラクターマーチャンダイジングのノウハウを海外で展開できるように、既存事業の強化、カテゴリーやエリアの拡大、そしてそれを支える組織作りに取り組んでいかなければなりません。もちろん国内は、新しいカテゴリーを作るにしろ、新規参入するにしろ、その分野でトップに立ち、ナンバーワンの地位を確立していきます。そのための施策の一つとして、来年からは男児向けカテゴリーのさらなる強化を目的に、90年代に大人気となった「ハイパーヨーヨー」の復活や乗り物商品の新ブランド「VooV」の投入など新たなチャレンジも行います。これらのチャレンジが、実はグローバル化を推進する第一歩なのです。これからもトイホビー事業にご期待ください。

編集後記

本紙でもお伝えしましたように、「機動戦士ガンダム30周年プロジェクト」の一環で実施した「Real G」「Feel G」「Soul G」の3つのイベントが終了しました。ガンダムについては今後もさまざまな展開を計画し

ており、2010年には映像面では「機動戦士ガンダムUC」がスタートし、商品面ではガンプラ30周年などにより、さらに盛り上げてまいります。

来年は業務用ゲーム機から生まれた「パックマン」も、生誕30周年を迎えます。世界的に厳しい経済環境

下ではありますが、少しでも元気な話題を世界に向けて発信できるようチャレンジをしていきたいと思ひます。

株主の皆様には、今後ともご指導、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

(経営管理部 広報IR担当)

侍合体 DXモウギウダイオー

発売中/12,600円 (株)バンダイ

好評放映中の「侍戦隊シンケンジャー」(テレビ朝日系列、毎週日曜日朝7:30~)から、シンケンジャーレッドが操縦するロボット「モウギウダイオー」が登場。動物型の「牛折神」から「モウギウダイオー」に変形させることができます。電動走行アクション内蔵で、両モードとも前進・後進させることが可能です。また、「牛折神」モードの時には、別売りの「侍合体DXシンケンオー」(7,875円/発売中)を搭乗させることができ、番組内のシーンを再現して遊ぶことができます。さらに、発売中の侍合体シリーズの「折神獣」10体と合体すれば、「サムライハオー」が完成します。合体ロボの大きさは、全長495mmと過去最大級。「DXモウギウダイオー」を含めた11体の「折神獣」の組み換えで、さまざまな合体フォーメーションを楽しむことができます。

「牛折神」に変形↓



©2009 テレビ朝日・東映AG・東映

Tamagotchi iD

発売中/全6色・5,040円 (株)バンダイ

ダウンロードで自分仕様にカスタマイズできる「たまごっちシリーズ」の最新機種です。これまでの育成や赤外線通信によるお友達との通信遊びはそのままに、おでかけ先が増えたり、アクセサリを着せ替えたりと、自分だけの「たまごっち」にカスタマイズできる楽しみが増えました。さらに、専用サイトで配信されるレアなアイテムやミニゲームなどを携帯電話から赤外線通信を通じてダウンロードすることで、飽きることなく楽しむことができます。また、好評放映中のTVアニメ「たまごっち!」(テレビ東京系、毎週月曜日夜7時~)の放送内容に沿ったアイテムを毎週ダウンロードできるなど、番組との連動も図っています。

バンダイでは、「Tamagotchi iD」を2010年3月末までに国内で50万個販売する計画です。



©BANDAI・WIZ 2004

PSP用ソフト「機動戦士ガンダム ガンダムVS.ガンダムNEXT PLUS」

12月3日発売予定/6,279円 (株)バンダイナムコゲームス

人気アーケードビデオゲーム「機動戦士ガンダム ガンダムVS.ガンダムNEXT」が、さまざまな要素を追加し、パワーアップしてプレイステーション・ポータブル(PSP)に登場します。歴代の「ガンダム」シリーズで活躍した主役機や名脇役機を60機体以上収録し、家庭用オリジナルの要素として「NEXT-PLUS」モードを収録。プレイヤーは自分の好きなモビルスーツを4機選んでチームを作り、250以上のミッションに挑むことができます。また、現在さまざまなメディアでの展開が広がっている「機動戦士ガンダムUC」の主役機「ユニコーンガンダム」も収録し、ゲーム開始時から使用できるなど、新旧さまざまなモビルスーツを操り、白熱のバトルを楽しむことができます。



©創通・サンライズ ©創通・サンライズ・毎日放送

EMOTION the Best 1900 & DVD-BOX

順次発売/DVD:各1,995円 DVD-BOX:15,750円~
バンダイビジュアル(株)

バンダイビジュアル選りすぐりの作品がスペシャルプライスで楽しめる“EMOTION the Best 1900”を10月27日より順次発売しています。劇場版「宇宙戦艦ヤマト」5作品や「攻殻機動隊」シリーズ4作品など、豪華なラインナップは12月現在で19作品にのびります。

また、“EMOTION the Best DVD-BOX”として、SFアクションアニメの「スクライド」と「無限のリヴァイアス」なども発売しています。廉価版とはいえ、新規描き下ろしのイラストを使ったボックスや、ドルビーデジタル5.1ch音声の収録など、こだわりの仕様となっております。

“EMOTION the Best”シリーズは、これからもたくさんのタイトルが発売を控えており、スペシャルプライスで身近になった大作アニメを幅広いお客様にお届けしていきます。

GHOST IN THE SHELL
攻殻機動隊

©1995 士郎正宗/講談社・バンダイビジュアル・MANGA ENTERTAINMENT

